

箕面市消防本部の管内概要

箕面市の地勢

本市は、大阪府の北西部に位置し、東は茨木市、西は池田市及び川西市、南は吹田市及び豊中市、北は豊能町に隣接しており、昭和 31 年 12 月 1 日に市制を施行し、大阪府内 24 番目の市として誕生しました。

現在、人口は約 13 万 8 千人、市域は、東西 7.1 k m、南北 11.7 k m、面積 47.90 k m²で、北部は、市域の約 3 分の 2 を占める北摂山系箕面連山からなり、明治の森箕面国定公園を擁し、自然に恵まれた住宅都市として発展しています。

本市は、名滝「箕面大滝」とともに東海自然歩道の起点として知られ、大都市の近郊にありながら豊かな自然が残り、桜や紅葉の季節には近郊から大勢の観光客が訪れます。南部には、一大流通センターである大阪船場繊維卸商団地が、中部には、平成 15 年に大型商業施設が整備された箕面新都心「かやの中央」が、東部には、平成 16 年に国際文化公園都市「彩都」が、北部には、平成 19 年に大阪府内で最長となる箕面グリーンロードトンネル(坑道距離 5.6 k m)が開通し、水と緑の健康都市「箕面^{しんまち}森町」がまちびらきしました。更に北大阪急行線を箕面新都心「かやの中央」まで延伸する事業が、2020 年度の開業に向け、本格的に動き出し、21 世紀にふさわしい新しい街へと発展しています。

なお、平成 28 年 4 月から消防事務を受託している豊能町は、本市の北部に隣接しており、現在の人口は約 2 万人、面積は 34.34 k m²となっています。

箕面市の変遷

本市域の母体は、明治 22 年 4 月 1 日の町村制施行によりつくられた箕面村、萱野村、止々呂美村の 3 村で、昭和 23 年 1 月 1 日に町制施行により箕面村が箕面町となり、同年 8 月 1 日に萱野村、止々呂美村と合併、昭和 31 年 12 月 1 日には三島郡豊川村と合併して市制を施行しました。その後、昭和 32 年 4 月 1 日に茨木市の川合地区を編入し現在のかたちになりました。